

うせんぎん 配山が源流のこの湧水は、ふもとにある賀茂神社の石垣の下から湧き出ている。 1日の水量は1万5千りもあり、梅花藻が美しい地蔵川の水源になっている。 -古事記」や「日本書記」には、高熱に苦しんだ日本武尊がこの湧水によって醒まされ

たと書かれており、「宮麓の清水」と名付けられたという。

喫茶「和cafeたち季」の店長の立木厚子さんは、「この湧水は 『平成の名水百選』に選ばれています。とてもおいしいで すが、煮沸してから使うようにおすすめします」と言う。



比良山系の阿弥陀山を水源

とし、水温は年間を通して12.5度と低く、 昔から地区の生活用水として大切にさ れてきたが、水道が整備されるにつ れ、飲料水としては次第に使われ なくなり、1998年にコンクリートで 蓋をされてしまった。

2004年、「かつての湧水を取り戻し たい」という地元住民の手によって復 活。近ごろでは水をくむ人の車列がで きるほど。嘉田山紀子知事も何回か訪 れており、周辺の飲食関係者からも評価を 得ている。

点してつめん

鈴鹿山系の宇曽川源流に近いこの名水は、昔から 伊勢参りの旅人に親しまれてきた。 世上古湧水の名前は近くの山比古地蔵にあや

かったもので、今も地元の人々に愛されている。 偶然出会った親子連れに感想を聞いてみたら、「冷たくて気持ち良 い水です。水の音が心地良くて大好き。景色も最高です」と絶賛。 「平成の名水百選」にも選ばれており、近くの喫茶店「クロスロー ズ」で、この名水を使ったコーヒー(350円)が飲める。



※掲載記事は飲用に適することを保証するものではありませんので、 飲用に供される場合は、湧水が所在する自治体にご確認ください。

1985年に環境庁(現環境省)の名水 百選に認定されたこの湧水は、伊吹山麓 に源を発し、泉神社の境内から湧き出ている。 1日の流水量は約4500~」と豊富で、年間を通して 平均11度と冷たく、硬度も99.0で、カルシウムや マグネシウムの含有量が多い(2011年の検査結果)

地元では長い間「長寿の水」として飲まれ、洗濯や農業用としても利用さ れてきた。保存会が結成され、保全伝承活動が積極的に行なわれている。 県内外からも多くの人が水をくみに来ており、名古屋から来たという女性 は「この水を料理に使っています。無くなったらまたくみにきます」と話す。



各宗派仏壇 仏具 修復・お洗濯も承ります

ぬし辰 五十子仏壇店

中村店 近江八幡市中村町18-1 **TEL(0748)33-7636** FAX (0748) 33-5789

TEL (0748) 32-2824 本 店 近江八幡市為心町中6

営業時間 AM9:00~PM7:00 定休日(木曜日) 本店のみ(年中無休)



秋葉の水の安曇川





佐々木マキ見本帖展

カ展覧会は、佐々木マキの約45年に渡 画業を一堂に紹介しようとするものです 発表された実験的なマンガの原稿から、 佐々木マキ作品誕生の裏側に迫ります

THE MUSEUM OF MODERN ART, SHIGA 大津市瀬田南大萱町1740-1(文化ゾーン